

報道関係者各位

2012年2月21日（火）  
つくばエキスポセンター

## 最先端ロボットが登場する 「第4回わくわくサイエンススクール」を開催

つくばエキスポセンター（館長：木阪崇司、所在地：茨城県つくば市吾妻2丁目9番地、TEL：029-858-1100）は、つくば市および独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト茨城と共催で「第4回わくわくサイエンススクール ロボット編2」を開催します。

今回は、100名の小学生を招いて、独立行政法人産業技術総合研究所が開発した、人間に近い歩行や動作ができるヒューマノイドロボット「HRP-4C 未夢（ミーム）」のデモンストレーションと、開発に携わった研究者・技術者との交流を行います。

「わくわくサイエンススクール」は、最先端の科学について、工作・実験・観察を通じて子どもから大人まで楽しみながら学習できる体験型イベントです。

人とロボットが共に生活する社会を目指す「つくば」で開発された「HRP-4C 未夢」を通じて、人とロボットの共生について考えます。ご自由にご取材ください。

### <開催概要>

日時： 2012年2月25日（土）各4回同じ内容で開催します。

10:30～11:15、12:30～13:15、14:00～14:45、15:30～16:15

場所： つくばエキスポセンター（茨城県つくば市吾妻2丁目9番地）

対象： 小学校3～6年生

※参加申し込み受付は、既に終了しております。

定員： 各回25名

主催： 財団法人つくば科学万博記念財団（つくばエキスポセンター）、つくば市、独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト茨城

後援： 独立行政法人産業技術総合研究所、川田工業株式会社、つくば市教育委員会

### <問い合わせ先>

財団法人つくば科学万博記念財団

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻2丁目9番地 TEL：029-858-1100、FAX：029-858-1107

リリースおよび取材に関する問い合わせ：企画調整室 小林／西島

わくわくサイエンススクールに関する問い合わせ：運営業務部 小田倉／徂徠

【参考資料】

1. 当日のスケジュールについて

下記のスケジュールで開催いたします。

|                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 10 : 30～10 : 35 | ファシリテーター挨拶、講師紹介         |
| 10 : 35～10 : 45 | HRP-4C 未夢の紹介とデモンストレーション |
| 10 : 45～10 : 55 | どうしてヒューマノイド型ロボットを作るのか？  |
| 10 : 55～11 : 10 | みんなの夢のロボット考察、質疑応答       |
| 11 : 10～11 : 15 | まとめ、挨拶、アンケート記入          |

※上記時間はあくまで予定です。当日の運営状況により多少前後することがあります。予めご了承ください。全ての回も同様の流れで行います。

2. 講師紹介

- ・横井 一仁（よこい かずひと）氏  
独立行政法人産業技術総合研究所 知能システム研究部門 副研究部門長  
兼 ヒューマノイド研究グループ長  
未夢のプロデューサー。歌や踊りに役者やモデル、未夢のいろいろな挑戦をサポートしている。
- ・金平 徳之（かねひら のりゆき）氏  
川田工業株式会社 技術研究所情報機械研究室長  
どうすれば人の役に立つロボットができるか、いつも考えているエンジニア。自分たちのロボットで喜んでくれる人の顔を見ることが何よりの楽しみ。

3. 「HRP-4C 未夢（ミーム）」とデモンストレーションについて

独立行政法人産業技術総合研究所（以下、「産総研」と言う。）が開発した、人間に極めて近い歩行や動作ができるヒューマノイドロボット。身長 160cm、体重 46kg（2009 年発表当時は身長 158cm、体重 43kg）、関節位置や寸法は日本人青年女性の平均値を参考に、人間に近い外観を実現。顔の表情が変えられる。産総研が開発した 2 足歩行技術などのロボット基盤技術を集結し開発。

これまでに、MC、ファッションモデル、女優、歌手として活躍。

デモンストレーションでは、ロボットとは思えないリアルな仕草や表情を間近で観察できる。



ヒューマノイドロボット HRP-4C 未夢（ミーム）  
画像提供：独立行政法人産業技術総合研究所

#### 4. つくばエキスポセンターについて

つくばエキスポセンターは、1985年に筑波研究学園都市で開催された国際科学技術博覧会（科学万博—つくば’85）の恒久記念施設として建設されました。

博覧会終了後は、科学館として運営を再開し今日に至ります。館内には世界最大級（ドーム直径25.6m）のプラネタリウムを始め、科学技術に関する体験型展示物のほか、国際科学技術博覧会当時の様子を今に伝えるメモリアルコーナーがあります。

また、サイエンスショーや科学教室等のイベント開催にも力を入れており、子どもたちの好奇心を大切に、体験や遊びを通じて科学の楽しさを体感できる施設を目指しています。

##### <つくばエキスポセンター概要>

名 称： つくばエキスポセンター

館 長： 木阪 崇司（きさか たかし）

所 在 地： 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻2-9

開館時間： 9：50～17：00（12月・1月の平日のみ16：30閉館）

※入館は閉館30分前まで。

入 館 料： 入館券 おとな400円、こども200円

プラネタリウム券（入館券含む） おとな800円、こども400円

※おとな：18歳以上、こども：4歳～高校生、3歳以下無料

休 館 日： 毎週月曜日（祝日の場合は翌日休）および月の最終火曜日、年末年始

アクセス： ・つくばエクスプレスを利用

[つくば駅]（終点）下車。A2出口より徒歩5分（秋葉原⇄つくば間 45分）。

・自動車を利用

常磐自動車道 [桜土浦IC] を下りつくば方面へ、その後大角豆（ささぎ）交差点を下妻方面へ（約8km 15分）。駐車場有（60台）、土日祝・繁忙期有料。

問い合わせ： TEL：029-858-1100（代）、FAX：029-858-1107

U R L： つくばエキスポセンターホームページ <http://www.expocenter.or.jp/>